

安庭は、戸沢氏発祥の地

本校には、戸沢という地区があります。また、ここにある沼田神社は、戸沢氏の祖先を祀っているとされています。雫石が発祥の地とされる戸沢氏は、地名のほかに「野菊伝説」などが伝わっており、雫石町にとっても深いかわりのある氏族なのです。

多くの資料では、戸沢氏の祖を平衡盛としています。衡盛は、桓武平氏貞盛流で、保元の乱（1156年）に父忠正と共に崇徳上皇に付いた平通正の子とされています。通正は乱に敗れ処刑されましたが、その時妻は身ごもっており、難を逃れて大和国尾輪という所に行き、そこで男子を生みました。その子は尾輪平新と名付けられ、これが後の衡盛ということです。衡盛は、その後陸奥国岩手郡雫石の戸沢に移り、戸沢と称しました。その後、二代兼盛の時に、出羽国山本郡門屋（秋田県仙北市西木町）に移りました。その後、戸沢氏は本拠地を角館に移し、支配を拡大していきました。さらに後になると、戸沢氏は戦国大名となり、活躍します。中でも、「鬼九郎」と言われた戸沢盛安は豊臣秀吉から大いに認められました。その後、転封により常陸国松岡（茨城県高萩市）に移ることとなりました。そして、またその地で活躍し、その功績が認められ、加増転封により新庄藩の大名となりました。その後は6万石（後に7万石）の大名として、明治維新まで隆盛を誇りました。

平成25年から、戸沢氏ゆかりの四県五市町による「戸沢サミット」が行われており、交流が図られています。第3回にあたる今年は、7月17日（月）に秋田県仙北市で開催され、サミットに併せて開催された第19回戸沢氏祭と共に、盛大な会となりました。なお、雫石町では、来年の平成28年に開催予定です。

このように、雫石町から始まり多くの地で活躍した戸沢氏は、今でもたくさんの方々から慕われています。

出典…雫石町誌資料（第5集）：中世の雫石と戸沢氏



<平成27年度 第19回戸沢氏祭に参加した戸沢地区の皆さん>